

太教、基督教と甚だしく異ならざる如し。即ち偶像を非認し、神ゴットを主神格とし、之に服従する迄は同一なり。唯、回々教に於て排斥する所は、猶太教の三位一體（豊穰神守）と基督教の神子説なり。既にマホメツト自身も、自己所信の宗教と猶太教、基督教とは、全然其の本質は同一なりと説きたるのみならず、又實に猶太の各豫言者基督教の後繼者たるに外ならずと聲言し、且つ我は在來の信仰を一般世人に明示せんが爲めに、出現せしに過ぎずと主張したりき。

基督の眼に映せし神は、如何なる場合に於ても、嚴父の如くならず、慈母の如くなりき。之に反し、マホメツトの眼に映せし神は、如何なる場合に於ても慈母の如くならず、嚴父の如くなりき。要するに、此の點に於て、兩者の天神觀は、甚だしき差異あるに似たり。又マホメツトの道德觀に於て、男女同權を非認せると、布教の手段に於て、自己の目的を貫徹する爲めに戦争主義を執れるは、他と甚だしき相違ありと謂はざるを得ず。

マホメツトが山林に斷食苦行して、一宗を創始せしは、敢て驚くべき業に非らず、何となれば、古來の開教者と同一徑路なればなり。又彼の發見せし回々教も、亦敢

猛烈なる  
布教